

国際博NEWS | ~6月・7月の情報をまとめてお届けします~

ちまきのお当「振る舞いのちまきかぶり」

当野の大歳神社で6月29日に執り行われた「ちまきのお当」。五穀豊穡や無病息災などを願って行われる伝統神事です。獅子舞が登場し、境内を練り歩くと、最後は巨大なちまきにかぶりつき、引きちぎると、氏子たちから大きな拍手と歓声が湧き起こりました。神事はかつて宮当番の家で行われていましたが、準備や接待などが大変なこともあり、現在は同神社で行われています。また、6月下旬の亥日に行われてきた神事は、亥日に近い日曜日に変更、集落全戸に配られていたちまきはお供えの数だけつくるなど、簡略化が進められてきました。神社総代のなかもと善博さんは、「今後も伝統神事を絶やすことなく、後世につないでいきたい」と話されました。



謡と踊りの祭典

市内の民謡演奏者や民舞踊愛好者の皆さんが日ごろの練習の成果を披露する「謡と踊りの祭典」が7月6日に四季の森生涯学習センターで開催されました。これは、丹南音頭保存会、西紀音頭保存会、今田小唄保存会、秀裕会、丹山会、ドライフラワーの6団体が実行委員会(西田三浦委員長)を組織して実施。民謡や踊り32曲を熟演し、来場者を楽しませました。西田委員長は「今後も、昔から受け継がれてきたものを大切にしながら、新しいことに挑戦していきたいと思います。高齢化でメンバーが減少していますが、後世に伝えていくため、小・中学校に積極的に出向いて魅力を伝えていきたい」と話されました。



情報 ア・ラ・カ・ル・ト

丹波篠山の造りもの「八朔祭夕涼み見学会」参加者募集

熊野新宮神社(二ノ坪)で行われる八朔祭は、京都祇園祭をまねた山車に氏子集落が趣向と工夫を凝らした「造り山」をのせ、境内で出来栄を競う祭礼として知られています。提灯に照らされた山車に「造りもの」が映える姿は、幻想的で壮観です。

- 開催日時 8月31日(日)17:30~20:40
- 内容 ①講演(17:30~18:20)=丹波地域の造りものとお八朔祭について/久下正史さん=四季の森生涯学習センター

- ②歴史街道小野新の町並みとお八朔祭見学(18:50~20:20) ※市バスで移動します
- 集合場所 四季の森生涯学習センター東館
- 定員 20人(先着順)
- 対象 18歳以上の方(18歳未満は保護者同伴)
- 申し込み方法 上記の2次元コードからお申し込みください
- 問い合わせ 地域計画課観望室 ☎552-1118



TAMBASAYAMA Food Festival

丹波篠山グルメ感謝フェア開催中

スタンプを集めて豪華賞品を当てよう!



参加店舗



スタンプラリー

8月を楽しむ【祭事・イベント】



- 八上ふれあい夏まつり=2日(土)16:00~/八上小学校
- 波々伯部神社祭礼=2日(土)・3日(日)/波々伯部神社(宮ノ前)・波々伯部地区8集落
- 丹波篠山サッカー教室(世界を知る小野伸二さん、元Jリーガーの原一樹さんを講師に迎えたサッカー教室)=6日(水)○1部:10:30~12:00(サッカー教室)、○2部:13:30~14:30(トークショー)/西紀運動公園
- ふるさと後川夏祭り=9日(土)17:30~21:30※雨天時は10日(日)。/旧後川小学校グラウンド
- 竹でつくる水鉄砲で遊ぼう=10日(日)10:00~/泊まれる学校おくも村(中)
- にしきふるさとまつり=13日(水)17:00~21:00/西紀支所前特設会場
- ときめき王国サマーフェスティバル=13日(水)17:00~/今田まちづくりセンター前
- デカンショ祭=15日(金)・16日(土)/篠山城跡三の丸広場周辺
- 日置地区ふるさと夏祭り=23日(土)18:30~21:00ごろ/城東小学校
- 子授け地藏地藏盆(子授けにご利益があるとされ、お地藏さんを持ち帰り、子を授ければ元の場所に戻します)=23日(土)・24日(日)/川原地区
- 榎森地藏地藏盆=23日(土)・24日(日)/川原住吉神社の東隣(川原地区)
- 古市地藏盆=24日(日)15:00~/古市地区(古市旧街道)
- 世界魅惑の音楽の旅=24日(日)12:30開演/田園交響ホール
- 小坂万燈祭(五穀豊穡を祝う伝統的なお祭りで、神社境内に灯される約400本のキャンドルが幻想的な空間を醸し出す)=30日(土)19:00~/明月神社
- 八朔祭=31日(日)17:30~/熊野新宮神社(二之坪地区)

丹波篠山国際博「あかまっちゃん&りえちゃんを探せ！」

市内の各スポットに出現するデカンショのおどり手「あかまっちゃん」と「りえちゃん」を探し出し、Instagramに写真を投稿しよう!

- 実施期間 7月22日(火)から8月14日(木)まで
- 実施場所 市内各所 ※丹波篠山国際博公式Instagramアカウントで告知します。
- 実施内容 市内の各スポットに日替わり・時間限定で登場する、浴衣を着用したデカンショのおどり手の写真や動画を撮影し、「#デカンショ」「#あかまっちゃんを探せ」「#りえちゃんを探せ」「#丹波篠山国際博」をつけて、Instagramに投稿すると抽選で特産品をプレゼントします
- 問い合わせ 丹波篠山国際博担当 ☎558-8891



丹波篠山国際博

日本の美しい農村、農業へ

丹波篠山国際博だより

問い合わせ 丹波篠山国際博実行委員会事務局 ☎558-8891

詳しくはこちら



ユネスコ工芸都市加盟認定から10年。活躍する工芸家たちの手仕事に迫り、作品に込められた想いや制作のこだわりを紹介します。

つくる
Vol.4

おおがみゆうき
大上裕樹さん
(昇陽窯)



祖父の代から続く、陶芸の家に生まれ、幼いころからその世界にふれてこられた大上裕樹さん。高校1年生のときに祖父が亡くなり、いろいろな方から祖父の話を聞く中で、陶芸への思いが強まり、陶芸家をめぐすことになりました。

そこで、大阪の美術予備校に通い、金沢美術工芸大学に進学。工芸やデザインを4年間学ばれました。卒業後は当時、陶芸雑誌によく登場されていた鈴木五郎さん

(名古屋市の作品に感銘を受け、この人のもとで修業をしたいと、金沢市から月1回通い続け、弟子入りを許可されました。「修業時代、仕事は見て覚える、技術は盗むものと言われるように、師匠の仕事や作品を盗み見ては学びました」と当時を振り返られます。

3年間の修行の後、学生時代から付き合っていた彩子さんと結婚。その後、4カ月かけて陶芸や工芸の産地を選んで世界各地を巡られ、2013年に故郷に戻り、

作陶を開始されました。自窯では、丹波焼の伝統技法である「鑄」を生かした作品を追求されてきた大上さん。素地の一部を縦に削り取り、再び素地を埋め込むことで幾何学模様を創り出す、オリジナルの技法「鑄象嵌」を確立されました。「伝統を守りながらも、新たなことにチャレンジしよう」と、モダンさを意識して作り上げました」と話されます。

催しのご案内

■ 展覧会

丹波焼グループ窯4人展
「最幸な花と器」
8月6日(水)～12日(火)
神戸阪急新館7階
美術画廊

また、2024年4月から、陶工が案内人となって窯元巡りを行うなど、窯元での暮らしを一泊二日で体験できる「陶泊」を開始。昇陽窯がその宿泊先となり、裕樹さんや妻の彩子さんがお客さまをもてなされています。

「今後も、丹波焼の認知度向上につながるような取り組みを行い、丹波焼のファンを増やしていきたい」と、笑顔で話されました。

栄光輝く

長年の功績や日々の努力を、栄光に輝いた皆さんをご紹介します

旭日単光章

わかさみきお
若狭幹雄さん (西古佐)
元丹波篠山市選挙管理委員会委員長



2011年から2023年までの3期12年にわたり、丹波篠山市選挙管理委員会委員長を努めてこられた若狭幹雄さん。市長選や市議選をはじめ、県政や国政など、数々の選挙管理と執行に携わってこられました。「台風の影響で開票所が停電となり、衆議院選挙の開票作業が翌朝になったことや、市名を丹波篠山市に変更するかどうかの賛否を問う住民投票を取り仕切ったことがとても印象深い出来事でした」と話されます。

任期中には、若者への選挙啓発のため、高校生への出前講座も実施された若狭さん。「若者の投票率の低さは大きな課題です。若い方には率先して選挙に行ってもらいたいと思います。今後も、あなたの将来や明日を決めるのは、あなたの1票だということを伝えていきたい」と力強く話されました。

おおうちとしや
大内俊也さん (今田町本荘)
元丹波篠山市消防司令



瑞宝単光章

丹波篠山市消防署長を務めるなど約42年間、消防力の強化と消防の発展に貢献されてきた大内俊也さん。昭和54年に多紀郡一部事務組合消防本部に入庁し、主に火災や救急現場での業務を担当。災害が発生すれば消防隊・救助隊・救急隊として現場に出動されました。最も印象深いのは阪神・淡路大震災。「消防隊と救急隊で出動しましたが、甚大な被害を受けた状況を目の当たりにし、言葉にならない状態でした」と当時を振り返られます。受賞には「1人前にしてもらった先輩をはじめ、同僚・後輩の支え、消防団の皆さんの協力、家族の理解があって、やってこれました」と感謝の気持ちを話されます。「今後は自らの経験を地域で生かしていきたい」とにこやかに話されました。

しみずあきよし
清水昌義さん (今田町上立杭)
陶磁器製造業従事者



瑞宝単光章

高校卒業後、家業を継ぐため、昇陽窯・大上昇さんに師事され、修業後は父親の元で作陶に携われた清水昌義さん。縁起の良いエビを描いた「海老絵」や、器の表面の土を削り、稜線をつける伝統的な技法「しのぎ」を得意とし、主に食器や花器などを焼き続けてこられ、2018年には国の伝統工芸士に認定されています。1978年には若手の仲間とともに「グループ窯」を立ち上げ、丹波焼陶器まつりの前身となる「陶器市」を開催したり、丹波立杭陶磁器協同組合理事長のときには、「最古の登窯」の管理や活用に向けて奔走されたりしました。「この仕事を50年間続けることができ、ありがたい気持ちでいっぱいです。今後は、丹波焼を次世代につなぐため、お役にたてればうれしい」と、笑顔で話されました。



今月のこにちは市長室

市長が市政に対してのご意見やご要望をお聴きする場として開催しています。事前の申し込みは不要で、懇談会または1人15分程度の面談です。

とき 8月8日(金) 16:00~19:00
ところ 本庁舎3階 応接室
問い合わせ 市長公室 ☎552-5109

ふるさといちばん

市長の **HOT** とーく

丹波篠山の時代をつくろう



「キュウソネコカミ」凱旋ライブ



一番右が私、私の左がオカザワさん

丹波篠山市出身のギタリスト、オカザワカズマさんが所属するロックバンド「キュウソネコカミ」のコンサートが田園交響ホールでありました。関西学院大学の音楽サークル仲間と結成された人気バンドで、丹波篠山ふるさと大使にもなっています。オカザワさんは旧西紀町出身、篠山鳳鳴高校卒、4年前にもライブをしていただきました。

開場前からそのファンの姿にびっくりします。若い女性が圧倒的。始まって、またびっくり。誰も席に座っていません。超満員の観客は、みんな総立ちで腕を振り上げたり飛び跳ねたりします。絶叫するような歌、大きな音響、プロジェクションマッピングのような照明などに圧倒されます。これが2時間続きます。休憩もなしで、トイレが近くなった人は見ておられません。

うれしいことに、丹波篠山一色で大いに盛り上げていただきました。オープニングからデカンショ節のアレンジ曲、オカザワさんのギターソロ、桶ッ卓球の地元「ふらわあ桶ッ」から河南文子さんから選手が登場して、オカザワさんとの息をのむ対決。この日はオカザワさんの誕生日で、私がまるいの、まめりんと共に、バースデーケーキを運びました。

最後に、写真タイムがあって、超満員の会場の人々がみんな一斉にスマホをかざして舞台を撮影します。私もオカザワさんの隣にいらしていただいたおかげで、アイドルになったような気分でした。

ありがとうございました。キュウソネコカミは結成15周年で現在、全国ライブ中です。

ますますのご活躍をお祈りします！

※写真は全て藤井拓さん提供。



夢へのかけはし

教育やスポーツ、文化・芸術などの分野で活躍する若者たちを紹介します。

篠山鳳鳴高校男子バレーボール部 12年ぶりに近畿大会出場

篠山鳳鳴高校の男子バレーボール部が兵庫県高校総体でベスト16に入り、7月18日から21日まで京都府内で開催される近畿総体への出場を決めました。県大会では、2回戦の佐用高校、3回戦の香寺高校に2-0と圧勝。4回戦の滝川高校には25-20と1セット目を奪った後、2セット目はデュースにもつれ込むも、相手のスパイクを拾って得点を決めるつなぎのバレーを展開し、28-26と勝利。5回戦では第1シードの市立尼崎高校に0-2と敗れましたが、12年ぶり2度目の近畿大会出場を決めました。顧問の岡田宗大さんは、「チーム全体が近畿大会をめざして、ひたむきに取り組んできました。チームがうまくまとまらなかったり、結果が出なかったりしたことはありましたが、試合を積むごとに成長してきました」と話されます。近畿大会の初戦は、強豪の星翔高校(大阪府)と対戦。キャプテンの道上准弥さんは、「安定したレシーブから、クイックや時間差などのコンビバレーでまずは1勝をめざしたい」と健闘を誓いました。



大学連携でんしよばと

問い合わせ
神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ ☎FAX 506-6628
丹波篠山フィールドステーション ☎FAX 506-2366

えきラボ通信



篠山イノベーターズスクール 2025年度生をご紹介します!

5月17日、2025年度11期の開講式が行われました。今年度は起業エントリーコース、起業アドバンストコース、コミュニティビジネスコース、地域おこし協力隊起業支援型コースの4コースを設定しており、総勢30人が集まる開講式となりました。

今回は起業アドバンストコースの受講生を紹介します！



開講式での市長あいさつ 第1回目のコース別ワーク

中村 伸一郎さん(市内在住)



篠山イノベーターズスクールに入学しようと思ったのは、NPO活動を長く続けていくために、経営の視点やスキルを得たいと考えたことがきっかけです。私は2020年12月、仲間と一緒にNPO法人スマイルポケットを立ち上げ、市内の子育て世帯に寄り添う活動をしています。非営利活動は全てボランティアと思われがちですが、補助金や助成金だけに頼らず、地域の企業や団体とつながり、協力や寄付を得たり、収益事業を行ったりなど、組織基盤を安定させることが大切です。

スクールでネットワークを広げ、同期や先輩、講師の皆さんと楽しみながら学び、「丹波篠山にスマイルポケットがあってよかった」と言われるNPOをめざします。